

海洋理工学会 令和3年(2021年)度 春季大会プログラム

6月11日(金) オンライン(ZOOM)(運営本部:株式会社 KANSO テクノス東京支社)

12:30- 入室
13:00-13:10 開会、会長挨拶、大会諸注意

一般講演

13:10-14:30 一般講演1「海洋観測・航行等に係る技術開発」

A1. ドローンの自動追従着陸システムの μ -ASV への応用

☆ 森戸 誠・田原淳一郎(海洋大)

A2. ASV を用いたウェイポイント航行制御システムの開発

☆ 小野聡太郎・田原淳一郎・藤井 竣(海洋大院), 馬場尚一郎(JAMSTEC), 眞田幸尚(日本原子力研究開発機構)

A3. 高効率な海底マッピングシステム Speedy Sea Scanner ー実用化に向けてー

☆ 阪本真吾・杉本裕介(ウインディーネットワーク), 水野勝紀・多部田茂(東大新領域), 寺山慧(横浜市大), 深見裕伸(宮崎大)

A4. レーザー反射光による海中センシング技術に関する取組み【第1報】

○ 石橋正二郎・永橋賢司(JAMSTEC)

休憩(5分間)

14:35-15:55 一般講演2「海洋物理・化学・物質循環に係る研究」

A5. 黒潮流路の特定とその時空間変動 ー黒潮流路の変化が駿河湾に及ぼす影響の解明を目指してー

☆ 平野雄也(東海大院), 植原量行(東海大)

A6. 塩化水銀による殺菌試料中の硝酸イオンの窒素・酸素安定同位体比定量法の検討

○ 小松大祐・富所春奈・成田尚史(東海大院), 三野義尚(名大院), 脇田昌英(JAMSTEC)

A7. ArcGIS を利用した大阪湾・播磨灘流域圏における発生負荷算出システムの開発

☆ 林 正能(サイエンスアンドテクノロジー), 相馬明郎(大阪市大), 市川哲也(サイエンスアンドテクノロジー), 賀上裕二(水圏科学コンサルタント)

A8. 海底泥からの硫化物の発生と鉄剤による抑制の可能性について

○ 荒川純平・宮脇大・長谷川圭輔・曾根亮太(愛知水試), 鈴木智博(愛知県庁), 矢澤孝(愛知県知多農林水産事務所), 石田俊朗(愛知県水産業振興基金), 田崎智晶・小杉知佳(日本製鉄), 林正能・田口浩一・市川哲也(サイエンスアンドテクノロジー), 栗田貴代(海生研)

休憩(5分間)

16:00-17:00 一般講演3「海洋観測・分析に係る技術開発」

A9. 小型CTDセンサの開発状況と観測事例

☆ 賀来将大 (JAMSTEC)

A10. 海中サウンドスケープ観測システム開発における長時間音源・映像収録装置の活用

○ 勝越清紀・石水秀延・石森博雄 (いであ)

A11. メソプランクトンの種別サイズ個体数計測技術の開発

○ 秋葉龍郎 (産総研) , Gürses, Ridvan Kaan・田中祐志 (海洋大)

17:05 ~17:10 ベストプレゼンテーション賞発表(☆発表者が対象者)

17:10 ~17:15 閉会